

パパ・ママ子育て知恵袋

第14回は「大人も間違える」

長年、中学校教育に携わり、思春期の子供たちとつきあってきました。小学校教育に移り、小学校1年生から中学校3年生までの成長を知ることができて、とても幸せです。

中でも、男子と女子の成長の違いは、とても面白いです。

思春期前期から、多くの男子は「人生の**監督**」が欲しくなります。命令されるのを嫌がりながら、どこかでビシッと生き方を示してくれる大人にあこがれるようです。

多くの女子は「人生の**コーチ**」が欲しくなります。導いてはくれるが、強制はせず、自分の考えを尊重してくれる大人にあこがれるようです。

どちらにしても威圧的に命令してくる大人に対しては嫌悪感を抱きます。高圧的な指導で子供たちを従わせるタイプの教師がいます。教育や躾とは、大人の言うことを聞く子にすることだと信じている教師もいます。子供たちは逆らうと面倒だし、怖いので従順を装いますが、賢い子ほど内心では舌打ちをしているものです。(経験上、間違いありません)

「〇〇しなさい」という命令口調を「〇〇しようね」「〇〇してみる？」に、「泣くんじゃない」を「悲しいね」に、「ちゃんとしなさい」を「背筋を伸ばしてごらん。気持ちが引き締まる」に変えてみる。

「ダメ!」「勝手にしなさい!」「嫌い!」「無理!」はタブーにする。

命令するのは、命令する側にも大きなストレスが生じます。

でも、現実にはついつい荒い口調になってしまう。そんなときは「ごめん。パパ、言い過ぎた」「ママ、イライラしてる。ちょっと冷静になるから一人にして」と言ってみる。

「大人も間違えるんだ」と教える方が、命令に従わせることより大切な気がするのですが……。